

[▶ ホーム](#)
学会案内

- [▶ 概要](#)
- [▶ 定款等](#)
- [▶ 組織・役員](#)
- [▶ 学会からのメッセージ](#)
- [▶ 事務局・連絡先](#)

市民の皆様へ

- [▶ 医療における放射線被曝](#)
- [▶ 放射線科の紹介](#)
- [▶ 放射線・原子力関連情報](#)
- [▶ 放射線医学の歴史](#)
- [▶ レントゲンの日](#)

医学生・若手医師へ

- [▶ 若手医師・学生の皆様へ](#)

平成18年度第5回理事会議事録

2006-10-10 22:04:35

日 時 : 平成18年8月26日(土),27(日)
 場 所 : 26日京王プラザホテル4階かつら 18:00~21:00,
 27日京王プラザホテル4階かつら 9:00 ~13:00
 出 席 : 大友 邦理事長, 遠藤啓吾, 甲田英一, 片田和廣, 栗林幸夫, 田村正三, 中村仁信, 西谷 弘, 早瀬尚文, 晴山雅人, 平岡真寛, 本田 浩, 松井 修, 山田章吾各理事,
 伊藤勝陽, 石垣武男, (監事),
 欠 席 : 杉村和郎理事

議題
議 題

1. 前回議事録の承認
 2. 第66回日医放総会について
 3. 第17回一次・第15回二次専門医認定試験結果の承認
 4. 平成18年度放射線科専門医更新者についての承認
 5. 医学物理士受験資格結果について
 6. 会計について
 7. 教育ガイドラインについて
 8. Radiation Medicineオンライン査読について
 9. 和文電子ジャーナルについて
 10. レントゲン手帳について
 11. 用語集について
 12. 学術・研究委員会から
 13. 治療アドホック委員会から
 14. 将来計画委員会から
 15. 画像診断撮影委員会について
 16. 会員管理システムについて
 17. 原子力・放射線従事者の被ばく管理システム委員会から
 18. 第44回秋季臨床大会長について
 19. 医学物理士海外派遣について
 20. 日本IHE協会設立について
 21. 会告について
 - 10月号
 - 放射線科専門医試験第16回一次試験結果
 - 放射線科専門医試験第14回二次試験結果
 - 平成18年度放射線科専門医更新認定者および追加更新認定者
 22. その他
- 報 告 事 項
1. 委員会報告
- 将来計画委員会
 専門医認定委員会
2. その他

AOSR報告

医療情報標準化推進協議会報告

▶ 入会案内
▶ 会員のみなさまへ

- [▶ What's New](#)
- [▶ 会員向けの情報](#)
- [▶ 学会からの情報・ガイドライン](#)
- [▶ 安全に関する情報](#)
- [▶ 会報・会告](#)
- [▶ 学会誌・出版物](#)
- [▶ 学術大会\(春・秋\)](#)
- [▶ 地方会案内](#)
- [▶ 国際交流](#)
- [▶ 関連学会集会](#)
- [▶ 利益相反](#)
- [▶ 専門医制度](#)
- [▶ 医学物理士制度](#)
- [▶ リンク集](#)
- [▶ 電子放射線診療用語集](#)

会員専用ページへ

 閲覧には会員番号と
 パスワードが
 必要です


日本語

議 事:

1. 第4回理事会議事録(案)を承認した。
2. 中村会長から、資料に基づき第66回日本医学放射線学会総会の進捗状況について説明がなされた。テーマは「放射線医学の光と影」。演題発表について、口頭発表を行うかどうかの振り分けについてはプログラム委員会と会長に一任して行われること、電子ポスターの場合も討論のみを行う、その他の運営は従来通りの方式で行われる旨報告がなされた。また同時期に開催される日本医学会総会についても説明がなされた。
3. 第17回放射線科専門医認定一次試験および第15回放射線科専門医認定二次試験結果の承認
8月25日に京王プラザホテルで行なわれた第17回放射線科専門医認定一次試験は、237名受験し、222名を合格と判定した。また、8月25日、26日に
行なわれた第15回放射線科専門医認定二次試験は、282名受験し、245名合格と判定したとの報告がなされ、放射線科専門医認定委員会の判定を承認した。
4. 平成18年度放射線科専門医更新者について
田村理事より、資料に基づき説明がなされた。平成17年度更新対象者は1623名で今回の更新有効期限は平成23年8月31日まで、平成16年度認定更新猶予者3名、平成17年度認定更新猶予者2名の報告がありこれを承認した。
5. 医学物理士受験資格結果について
山田理事より、平成18年の医学物理士受験者は申請者が119名あり、医学物理士認定委員会において受験資格審査を行った結果116名が受験資格認定者として承認された旨報告がなされた。今年度は過去受験資格を取得された受験者を含め受験申込者は142名となり、9月9日に東京医科歯科大学(東京都)で試験が行われる予定。専門医試験と同様に今後理事会に対して受験資格の詳細な報告は省いて良いこととなった。
6. 会計について
栗林理事より、上半期の会計状況について資料に基づき報告がなされた。収入と支出について、現状では特に予算と大きく変更が加えられるような変動はないとの説明がなされた。一部事業内容明細の名称を検討することが了承された。
7. 教育ガイドラインについて
平岡担当理事より進捗状況の報告がなされた。電子データ編集作業は最終段階まで進んでいる、またこの電子データを基に教育(研修)ガイドラインの小冊子を全会員へ配布する方向で進めたいとの提案が出され、費用等について見積もりをとることとした。また名称については教育よりも研修ガイドライン、あるいは専門医研修カリキュラムなどの方がわかりやすいのでは、との意見も出され、名称については委員会で検討いただくこととした。
8. Radiation Medicineオンライン査読について
松井担当理事よりオンライン査読はじめたい旨の提案が出された。以前より学会内ではオンライン査読については進める方向で検討されており、この提案を了承、オンライン査読システムの利用方法については(英文対応なので和文の対応をどのように進めるかなど)編集委員会で検討いただくこととした。
9. 和文電子ジャーナルについて
前期理事会で既に承認いただいている和文誌の電子ジャーナル化について大阪大学との覚書案について中村理事より説明がなされ、これを了承した。
10. レントゲン手帳について
遠藤理事より日本放射線技師会が試行したレントゲン手帳を発行する旨の連絡があり資料に基づき説明がなされた。実施には問題点が多いとの意見がだされた。
11. 用語集について
田村理事より資料を基に説明がなされた。音声認識を行っている会社からの提案内容については、前向きに進め、契約の内容などについても検討するこ

とになった。電子用語集を作成するにあたり、用語委員会にこの会社から委員会にオブザーバとして参加することが了承された。

12. 学術・研究委員会から

1) 賞の名称と受賞者数について検討がなされた。賞の名称及び受賞者数は下記の内容とすることが了承

1) 日本医学放射線学会学術集会

第XX回 日本医学放射線学会学術集会 Platinum Medal: 1名

第XX回 日本医学放射線学会学術集会 Gold Medal: 8名

第XX回 日本医学放射線学会学術集会 Silver Medal: 13名

第XX回 日本医学放射線学会学術集会 Bronze Medal: 14名

第XX回 日本医学放射線学会学術集会 教育展示優秀賞: 4名

第XX回 日本医学放射線学会学術集会 最多アクセス賞: 2名

2) 日本医学放射線学会秋季大会

第XX回 日本医学放射線学会秋季大会 Platinum Medal: 1名

第XX回 日本医学放射線学会秋季大会 学術展示優秀賞: 4名

Gold Medal: 1名

Silver Medal: 1名

Bronze Medal: 2名

第XX回 日本医学放射線学会秋季大会 教育展示優秀賞: 2名

また賞の選考方法について検討がなされ、学術・研究委員会から出された春の学術集会における選出方法、秋の臨床大会における選出方法それぞれの案について議論された。また賞は各会長、大会長名で表彰することが了承された。また学会賞の詳細について学会ホームページで発表することが了承された。

13. 治療アドホック委員会から

平岡担当理事より6月に開催された治療アドホック委員会の報告がなされ、日本放射線腫瘍学会との話し合いを進めながら放射線科治療医のあり方について検討中であるとの報告がなされた。この件については継続審議。

14. 将来計画委員会から

早淵担当理事より、2004年から導入された卒後臨床研修医制度後初めての新しい学会員が本年4月から入会しているが、その会員を対象にアンケート調査を行っている旨の報告があり、資料に基づき説明がなされた。

15. 画像診断撮影委員会について

甲田担当理事より新しい画像診断撮影委員会について説明がなされた。規約及び専門小委員会の内容などについて理事会で審議、これを了承した。

16. 会員管理システムについて

大友理事長より継続審議事項である会員管理システムにつて、平成19年7月からの会員管理システム業者の選考基準及び選考方法について報告がなされた。現在4社が候補、9月中に各社とヒアリングを予定しており、次期理事会に結果報告の予定であるとの報告がなされた。

17. 原子力・放射線従事者の被ばく管理システム委員会から

遠藤理事より原子力・放射線従事者被ばく管理システム検討委員会について報告がなされた。この中の放射線従事者の被ばく管理についてはICRPの規定の変更などもあり継続審議される。委員会に遠藤、中村理事が出席し、その検討結果について引き続き報告していただくこととした。

18. 第44回秋季臨床大会長について

北日本地区より平成20年秋季臨床大会長として宍戸文男君(福島医大)を推薦したい旨の提案が出され理事会で了承、総会に提案することとした。

19. 医学物理士海外派遣について

山田担当理事より今年度から行われている医学物理士の海外派遣について、平成18年度に派遣された2名(久米恭君、川田秀道君)について報告がなされた。研修報告は学会ホームページに掲載することが了承、また研修事

業の協力団体である医用原子力財団との覚書についても報告がなされ了承された。

20. 日本IHE協会設立について

甲田理事より、現在学会でも後援しているIHE-Japanの中間法人化について、日本医学放射線学会に社員として参加いただきたい旨の依頼があったとの報告がなされ、理事会で検討後これを了承した。

21. 会告について

10月号

放射線科専門医試験第16回一次試験結果

放射線科専門医試験第14回二次試験結果

平成18年度放射線科専門医更新認定者および追加更新認定

22. その他

・昨年からの検討、作業を開始してきたホームページの最終段階について西谷理事より報告がなされた。ホームページは9月から新しいホームページへ変更となること了承された。また、今後のホームページへの掲載内容の指示は広報委員会から庶務担当理事に移行したい旨の提案がありこれを了承。

報告事項

2. 委員会報告

・将来計画委員会

7月26日に開催された委員会の報告がなされた。将来計画委員会で検討された遠隔画像診断に関するガイドラインについては既に電子情報委員会の中に遠隔画像診断小委員会があるのでそちらに御願することとした。

・専門医認定委員会

6月26日に開催された委員会について報告がなされた。

2. その他

AOSR報告

・松井担当理事より今年8月に香港で開催されたAOSRIについて、従来と違い中国、韓国が非常に力を入れて参加しておりレベルも高く、日本の若手医師にも勉強の場として活用できる。日医放でも是非今後は参加を呼びかけてほしい旨の報告がなされた。

医療情報標準化推進協議会報告

・6月22日開催の委員会報告

医療放射線防護連絡協議会報告

・平成17年度の活動報告

[このページのトップへ戻る](#)